

本書の特徴

- 1 バレエの誕生から現代まで、バレエの歴史に沿って、70以上の重要作品を世界的視点で完全網羅
- 2 チャイコフスキー、ストラヴィンスキーといった作曲家、プティパからバランシン、マシュー・ボーンまで主要な振付家、ニジンスキー、マーゴ・フォンテーン、ルドルフ・ヌレエフからカルロス・アコスタまで歴史に名を残すダンサーたち—— 総勢80名以上の主要人物たちを、その生涯や作品、歴史的影響まで徹底紹介
- 3 英国ロイヤル・バレエのプリンシパルとして世界的人気を誇ったバレリーナ、ヴィヴィアナ・デュランテが全面監修

目次

- バレエの誕生【1550～1830年】
『王妃のバレエ・コミック』『町人貴族』『メデアとイアソン』
ジャン＝バティスト・リュリ／ガエタン・ヴェストリス…
- ロマンティック・バレエ【1830～1860年】
『ラ・シルフィード』『ジゼル』『パキータ』『海賊』
マリー・タリオーニ／カルロッタ・グリジ／ジュール・ペロー…
- クラシック・バレエ【1860～1905年】
『ドン・キホーテ』『ラ・バヤデール』『白鳥の湖』『ライモンダ』
マリウス・プティパ／チャイコフスキー／アンナ・パヴロワ…
- モダン・バレエ【1905～1945年】
『牧神の午後』『春の祭典』『放蕩息子』『ダンス・コンセルタント』
セルゲイ・ディアギレフ／ヴァスラフ・ニジンスキー／マーサ・グラハム…
- バレエの国際化【1945～1975年】
『シンフォニック・ヴァリエーションズ』『ボレロ』『オネーギン』『ジュエルズ』
フレデリック・アシュトン／ジョージ・バランシン／モーリス・ベジャール／
マーゴ・フォンテーン／ルドルフ・ヌレエフ…
- 今日のバレエ【1975年～現在】
『プッシュ・カムズ・トゥ・ショヴ』『マイヤリング』『小さな死』
ウィリアム・フォーサイス／シルヴィ・ギエム／ジョン・ノイマイヤー／
イリ・キリアン／マシュー・ボーン／カルロス・アコスタ…

体裁

- ◆ B4変形(301mm×252mm)上製本
- ◆ 360ページ／オールカラー
- ◆ 定価：本体13,800円(税別)

この一冊で
バレエの全体像を
見せてくれる
美しい
贈り物



河出書房新社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-32-2 TEL.03-3404-1201 FAX.03-3404-0338 <http://www.kawade.co.jp>

ご注文数	バレエ大図鑑 2019年11月上旬発売予定 ヴィヴィアナ・デュランテ【総監修】 森 菜穂美【日本語版監修】 河出書房新社 冊 ■定価13,800円(税別) ISBN978-4-309-29034-8	お申し込み
お名前	お電話	
ご住所		

*お近くの書店にお申し込みください。



河出書房新社

すべてのバレエ愛好家に捧ぐ

ballet

THE DEFINITIVE ILLUSTRATED STORY

バレエ大図鑑

VIVIANA DURANTE

ヴィヴィアナ・デュランテ【総監修】

森 菜穂美【日本語版監修】

2019年
11月上旬
発売

定価13,800円(税別)

わたしの最大の喜びのひとつは、バレエの楽しさを人に伝えること。一冊でバレエの全体像を見せてくれる、このすばらしい本を皆様に紹介することも、わたしにとって喜ばしいことなのです。

〔総監修〕ヴィヴィアナ・デュランテ 元英国ロイヤル・バレエ、Kバレエカンパニープリンシパル



Gemma Levine/ Getty Images

世界初の画期的図鑑

ヴァスラフ・ニジンスキー
Vaslav Nijinsky

ダンサー、振付家（1890-1950年）

ニジンスキーはあらゆる時代を越えて最も有名な男性バレエダンサーのひとりである。力強さと軽やかさ、屈じがたいような跳躍、空中に浮かんでいるように見える能力によって、ニジンスキーはすぐに「世界の各舞台の平明」と呼ばれるようになった。だが、すべてが順調というわけにはいかなかった。最初は写実的な神話的な要素を思わせるものが、やがて徐々に変化を見せ、強い精神的な意味となり、ニジンスキーのキャリアを奪った。バレエ愛好家から並外れたダンサーを奪ってしまった。

彼が見せる数々の離れ業はまるで奇跡のようだ。ほとんど舞台上に足が触れていないように見え……あたかも目に見えない翼で支えられているかのようだ

80名以上の生涯や作品、歴史的影響を紹介

ダンサー、作曲家、振付家

夜のバレエ
Ballet de la nuit

マシュー・ボーン
Matthew Bourne

70以上の重要作品の解説

バレエの誕生から現代までを完全網羅

ジョージ・バレシン
George Balanchine

マリン・スクー
Marin Sorel

ダンサー、作曲家、振付家

本書を推薦します！

魅力的な記述と豊富な図版によって、バレエの誕生から現在に至るまでの“生きた姿”を伝えてくれるのが本書だ。ページを繰る度に名作が、アーティストが、目の前で息づきはじめる。

長野由紀（舞踊評論家）

ルネサンスから21世紀まで、バレエ500年の歴史に思いを馳せて、日がな一日眺めて飽きない浩瀚な一冊。500枚を超える写真と図画が、バレエの美の秘密を解き明かす。

海野 敏（東洋大学教授・舞踊評論家）

世界中のバレエ団も紹介

マリン・スクー
Marin Sorel

バレエのすべてを集めた決定版図鑑 — 500点以上の迫力あるヴィジュアルで徹底紹介! —